



## ☆欠点じゃなく「個性」であーる☆

神社仏閣の天井画の個人製作日本一！そんな画家の斎灯（さいとう）サトルさんは、画家になる前は、造園の仕事をしていました。そのうち、趣味で描いていた絵に注文が入り始め、造園の仕事が続けるか、絵の道で勝負するか、迷っていました。というのは、絵の道に踏み込めない深い悩みを抱えていたからです。



その悩みとは「色覚障害」です。微妙な色の判別ができないので、自分が塗っている色が見えていないということもあるのだそう。「この弱みを抱えながら、プロとしてやっていけるのか」と悩んでいたある日、ある人がこう言ってくれた。「色が判別できない、それはよかったですね」と。え？ どういうこと？「だからサトルさんは、はっきりした原色を使うのですね。色覚障害だからそういう色彩感覚を持っているのですよ。よかったですね」「色覚障害はマイナスなどではなかった！むしろそれが私の絵の特長だったんだ！」このときです。サトルさんが、絵の道一本でやっていこうと決意したのは、そう言ってくれたのは、心理学博士の小林正観さんでした。色の判別ができない。それもまたスペシャルな個性だと見たのでした。僕の欠点のお話もしましょう。僕には、人見知りで、言いたいことが伝えられないという欠点がありました。だからこそ、言葉が外に出ずに内側で熟成されていったように思います。その結果、書いて表現するという才能が引き出されました。欠点の裏側で、才能は花ひらくのです。ちなみにオーストラリアの原住民アボリジニの人たちは、欠けた月を「ドリーミング」と呼びます。欠けたところから、人生を彩るドリーミングが生まれてくるんです。

「3秒でハッピーになる超名言セラピー100」ひすいこたろう 著/ディスカヴァー

見事に欠点を個性と捉え、強みにしています。コンプレックスや悩みは、「弱み」じゃなくて「強み」かもしれないということに気付かされました。ということは、めちゃくちゃ悩んでいる事ほど、物凄い強みの可能性があるということです。



金子みすずさんの代表作で「わたしと小鳥とすずと」という作品があります。人と比べて劣等感を感じるのであれば、それ以上に良いところを向上させ、磨けば目立たなくなります。むしろ、それが味となり、長所にさえ思えてきます。大人気漫画「スラムダンク」や「ONE PIECE」に出てくるキャラクターは、意図的に“欠点”をつくったと言われていています。なぜか？その方が愛されるというのを知っていたのでしょうか。自分の欠点をも、愛していけたらいいですね♪

【後期の体験入学の案内です！申し込みはいかが？】

**龍桜** 高等学校 ★オープンキャンパス 【10/20(土)】

※ 校内で切 9/28(金)までに、藤山先生に申込書(中学校共通:青色)を提出！

**ヒューマンキャンパス** 高等学校 ★体験授業&学校説明会  
【9/29(土)・10/20(土)・10/27(土)】

※ 校内で切 それぞれの2日前までに、吉松先生に申込書(中学校共通:青色)を提出！

**れいめい** 高等学校 ★オープンスクール 【10/20(土)】

※ 校内で切 10/5(金)までに、吉松先生に申込書(高校パンフレット)を提出！

**松陽** 高等学校 ★部活動体験入部 【10月下旬~11月上旬】裏面参照

※ 校内で切 10/9(火)までに、岩元先生に申込書(中学校共通:青色)を提出！